

リケンテクノス株式会社
2014年3月期 第2四半期
(2013年度上期)
決算説明会

2013年11月27日

- 決算概要について
- 事業の概況について
- 今後の事業戦略について

決算概要について

1. 新3カ年中期経営計画スタート(グローバル展開の状況)

5月 PT. RIKEN INDONESIA(インドネシア)
医療用コンパウンド製造工場稼動開始



7月 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION
増設着工(米国)



韓国に販売会社(RIKENTECHNOS
INTERNATIONAL KOREA CORPORATION)設立

2. 広報活動の展開

4月 高機能フィルム展 出展



5月 人とするまのテクノロジー展 出展



8月 日経CNBC「アクロス・ザ・マーケット」 の「ASIAマネー」コーナーに社長が出演



【TV-CM提供番組】

- ・関東ローカル
TBS「もうすぐサンデー・ジャポン」
- ・関西地区
MBS「JNNフラッシュニュース」
- ・東海地区
CBC「JNNフラッシュニュース」

2013年度上期 業績サマリー

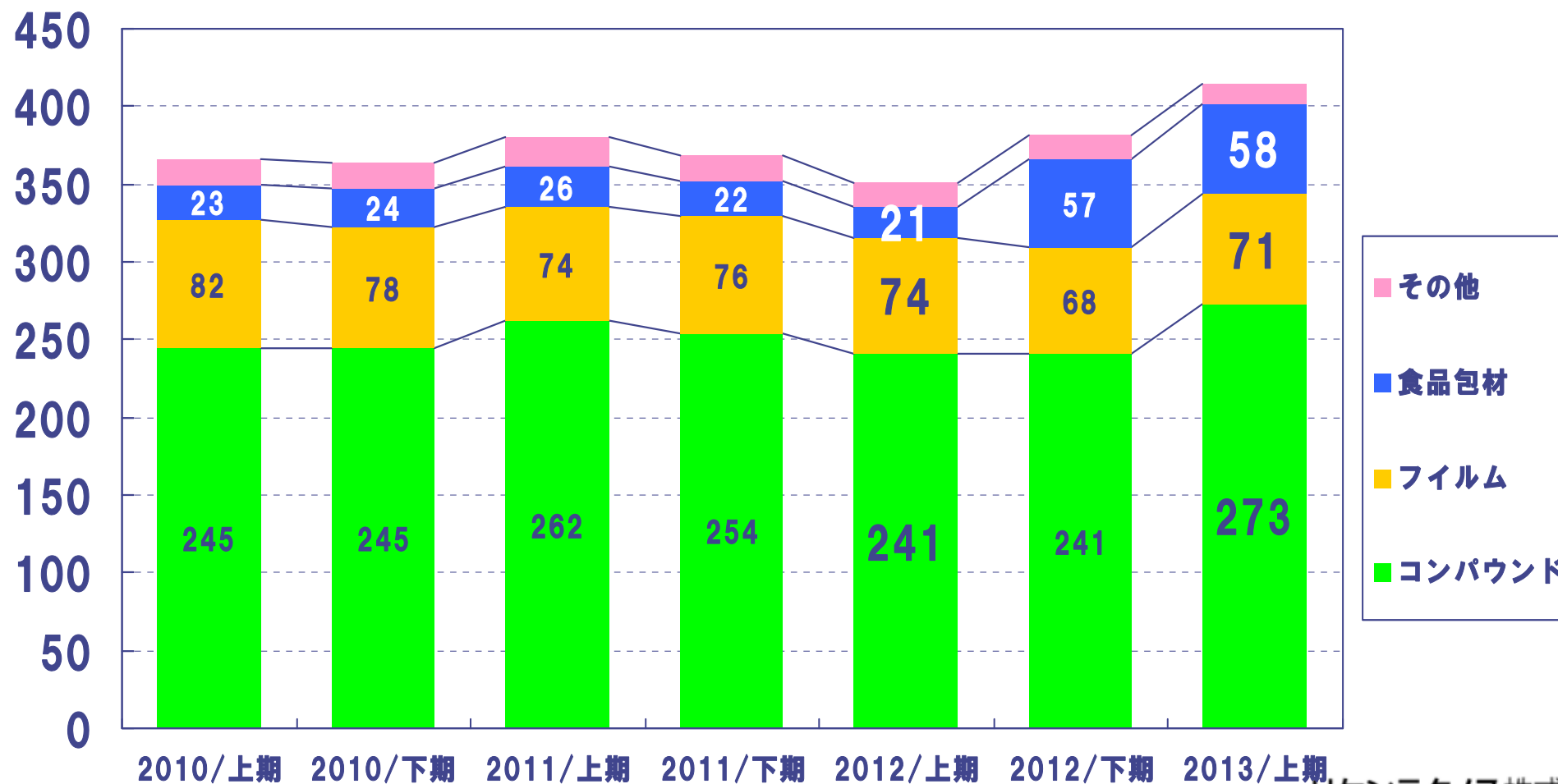
単位：百万円、円

科目	2013年度 上期	2012年度 上期	前期比	増減率	2013年度上期 業績予想	達成率
売上高	41,624	35,296	+6,328	+17.9%	40,500	102.8%
売上総利益	6,589	4,803	+1,786	+37.2%	—	—
営業利益	1,781	1,071	+710	+66.3%	1,500	118.8%
経常利益	1,956	1,060	+896	+84.5%	1,300	150.5%
当期純利益	1,235	871	+364	+41.8%	1,000	123.5%
1株当り利益	20.63	14.41	+6.22	+43.2%	16.71	123.5%

セグメント別売上高推移（半期毎）

2013年度上期 売上高 416億円
前年同期比 63億円増（17.9%増）

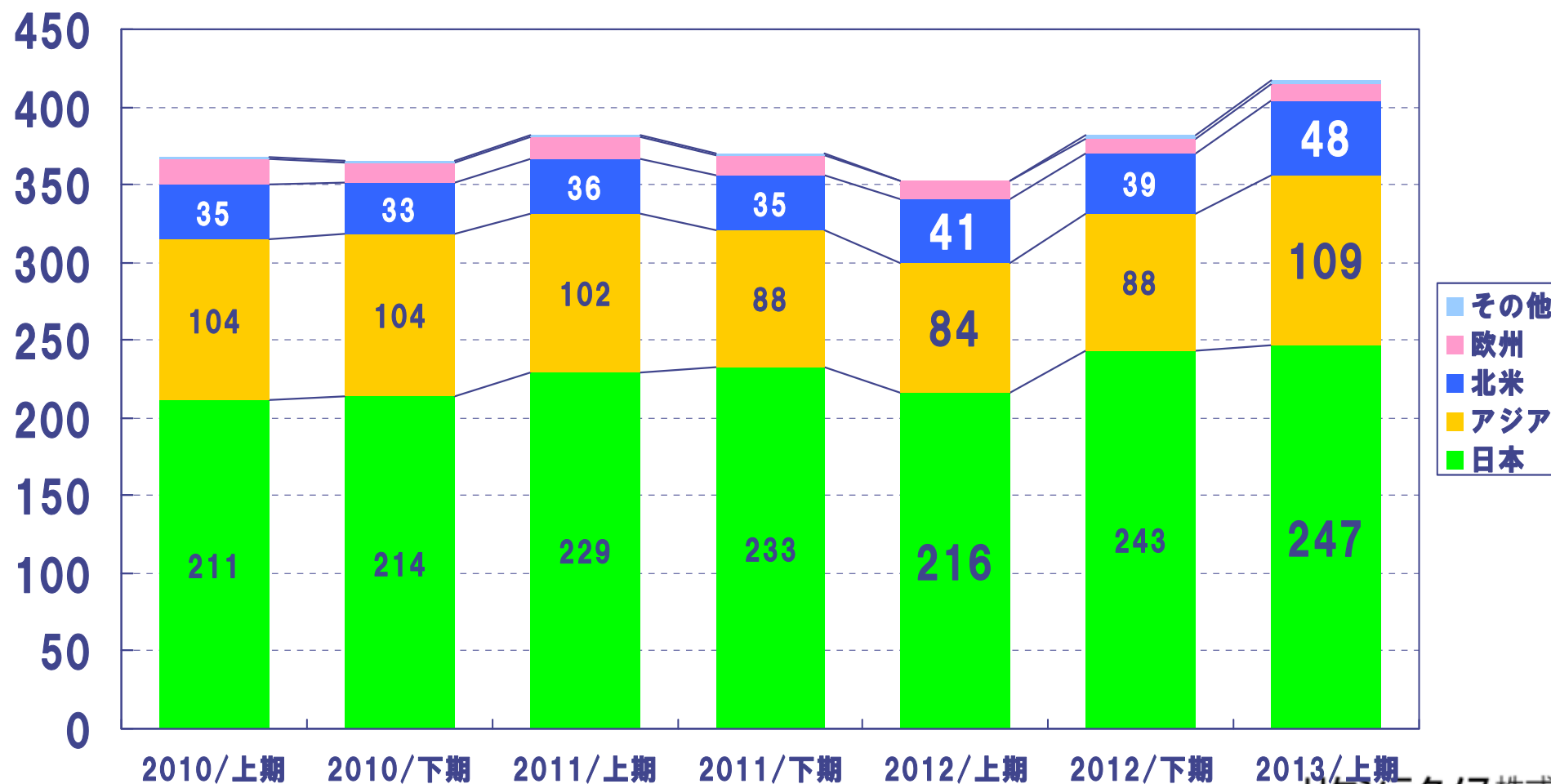
単位：億円



地域別売上高推移（半期毎）

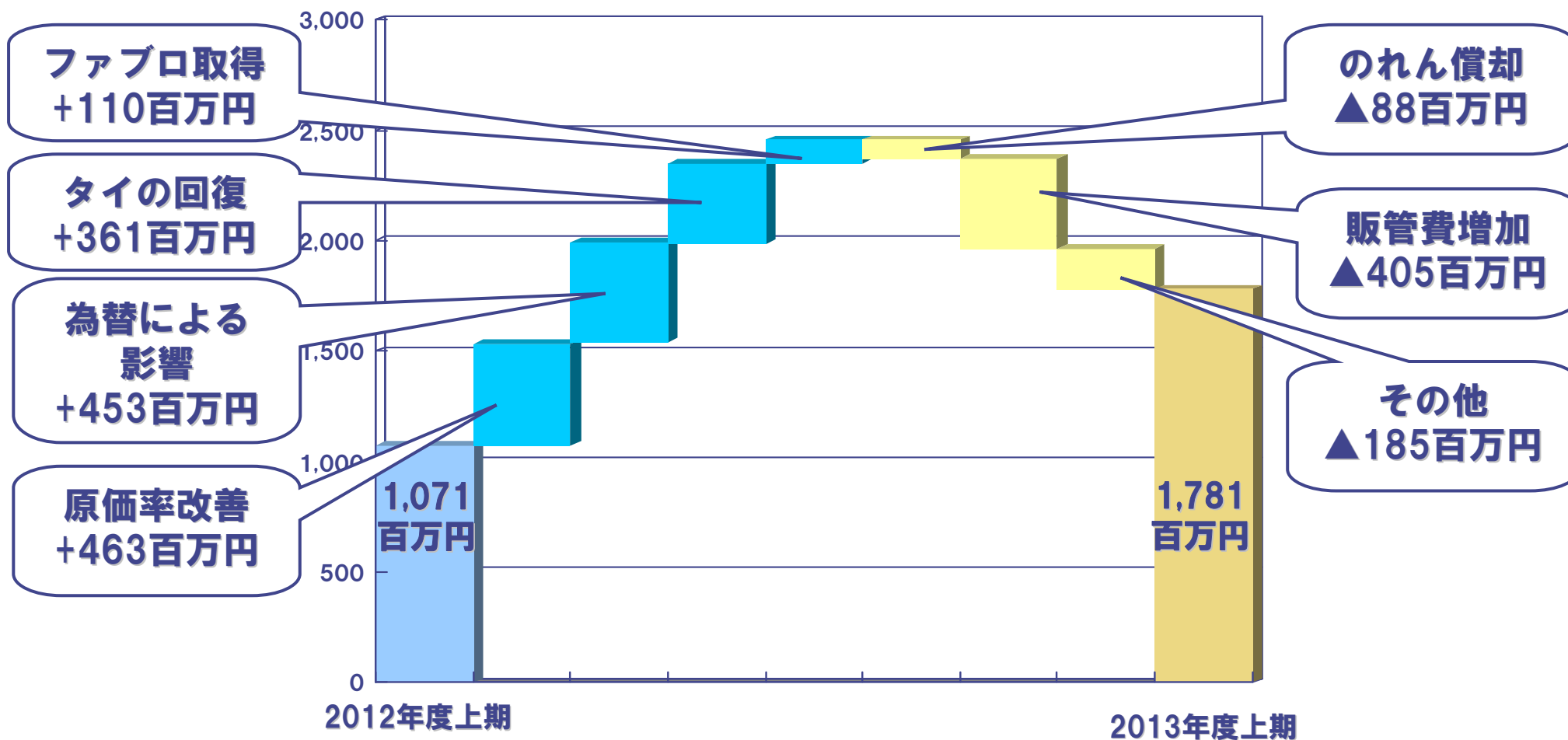
2013年度上期 売上高 416億円
前年同期比 63億円増（17.9%増）

単位：億円



営業利益の増減要因分析

営業利益 1,781百万円 前年同期比 710百万円増益



連結貸借対照表

キャッシュフロー・計算書

単位：百万円

資産合計

76,332 百万円

前期末比 7,333百万円増

流動資産 46,318百万円

固定資産 30,013百万円

負債合計

35,323 百万円

前期末比 4,139百万円増

流動負債 27,642百万円

固定負債 7,680百万円

純資産合計

41,008 百万円

前期末比 3,193百万円増

当期

前年
同期比

営業CF 2,595 ▲438

投資CF ▲2,168 821

財務CF 1,567 ▲2,440

増減額 2,418 ▲1,699

期末残高 10,990 ▲805

通期計画

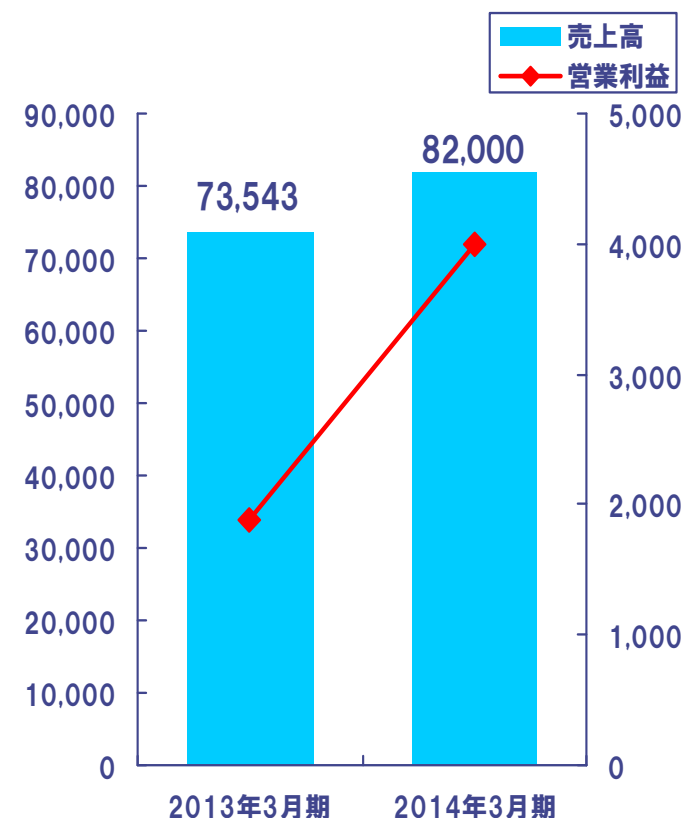
【期初予想からの修正】

売上高：▲30億円（リケンファブ'ロ決算期変更）

経常利益：+5億円（上期の増益を反映）

（単位：百万円、円）

科目	2014年3月期 業績予想	2013年3月期 実績	伸び率
売上高	82,000	73,543	+11.5%
営業利益	4,000	1,883	+112.4%
経常利益	4,000	2,271	+76.1%
当期純利益	2,400	1,351	+77.6%
1株当たり利益	40.09	22.38	+79.1%



株主還元

配当金

安定配当

(円、%)

	中間	期末	通期	配当性向	株主資本 配当率
2010年3月期	3.00	3.00	6.00	27.6	1.24
2011年3月期	4.00	4.00	8.00	24.0	1.60
2012年3月期	4.00	5.00	9.00	27.8	1.71
2013年3月期	4.00	5.00	9.00	40.2	1.69
2014年3月期 (予想)	4.00	5.00	9.00	22.4	1.68

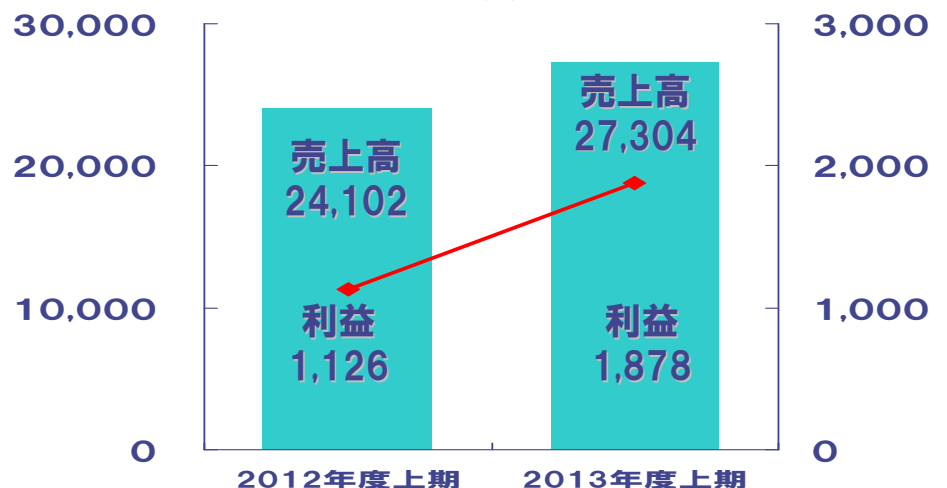
※2014年3月期（予想）における配当性向及び株主資本配当率は、9月末現在で把握可能な数値にて試算しております。

事業の概況

セグメント別動向① コンパウンド事業

上期実績

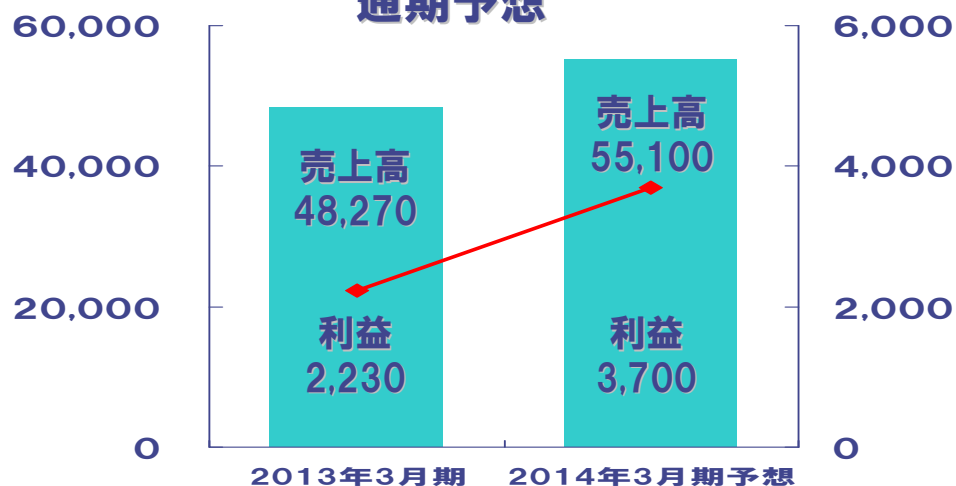
単位：百万円



3,202百万円増収 **752百万円増益**
 前期比13.3%増 前期比66.8%増

国内は建材・電材の売上が回復、自動車も引続き堅調。
 海外はタイ国子会社が洪水から回復し売上増加。米国2子会社も自動車、住宅が好調で増収増益。

通期予想



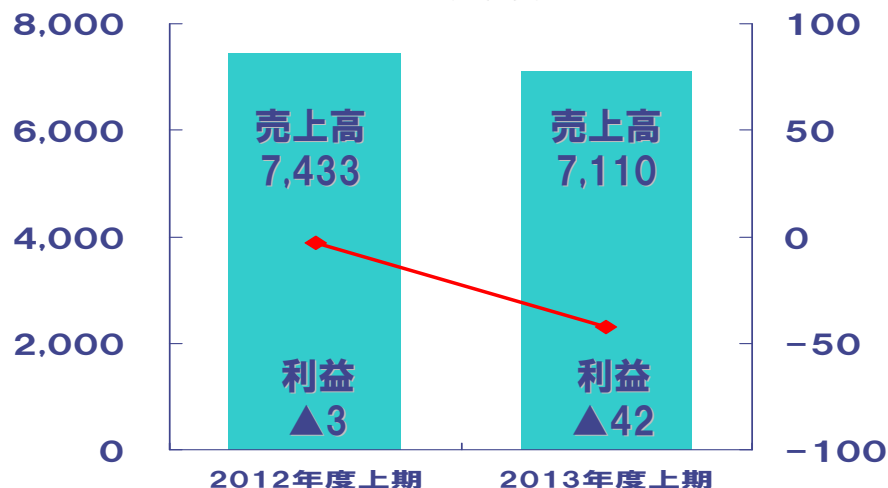
6,830百万円増収 **1,470百万円増益**
 前期比14.1%増 前期比65.9%増

国内は新規拡販、消費税引き上げ前の駆け込み需要もあり堅調に推移。
 海外は米国は引続き好調、中国での自動車向け回復、タイの新会社も寄与。

セグメント別動向② フィルム事業

上期実績

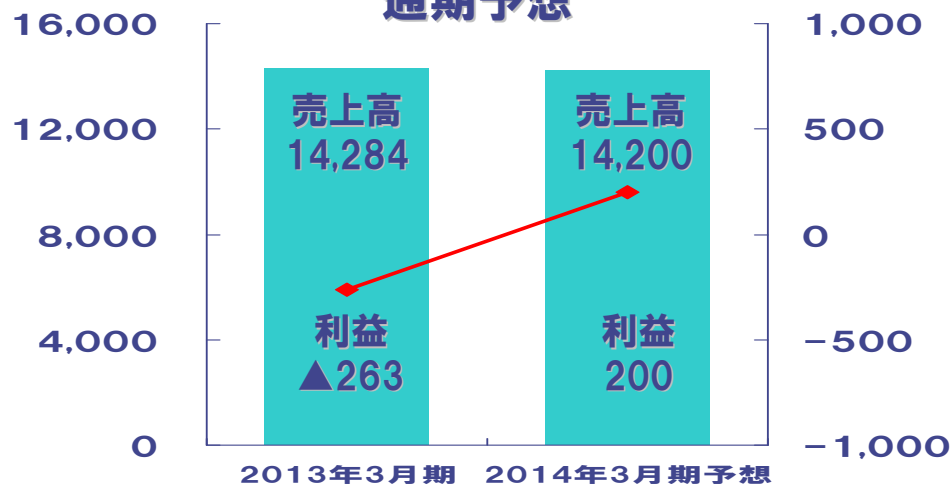
単位：百万円



323百万円減収 39百万円減益
前期比4.3%減

建装材は順調に推移、電材も車輻用を中心に好調。光学分野では不振のPDP用フィルムから撤退。輸出は主力である欧州市場の景気後退で低迷が続く。

通期予想



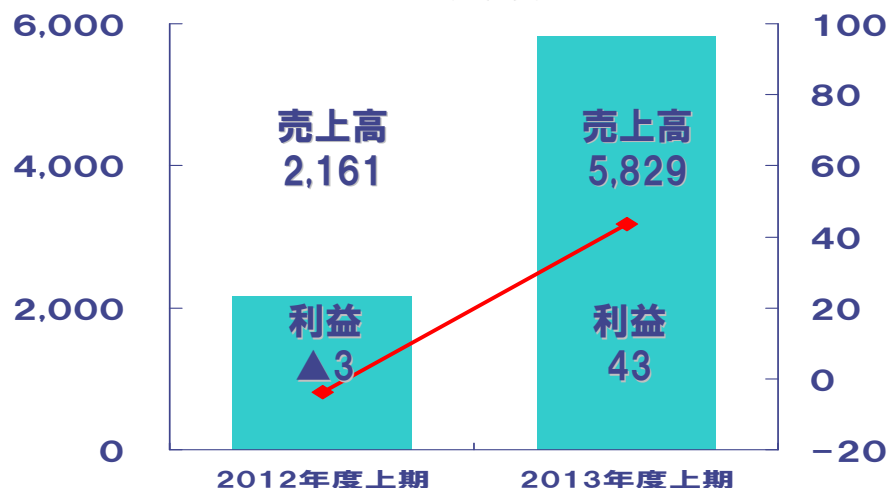
84百万円減収 463百万円増益
前期比0.6%減

建装材は好調が続き、安定的に黒字化を見込む。光学分野ではタッチパネル用等の開発で収益拡大に注力。マーケティング強化により新規開拓を進める。

セグメント別動向③ 食品包材事業

上期実績

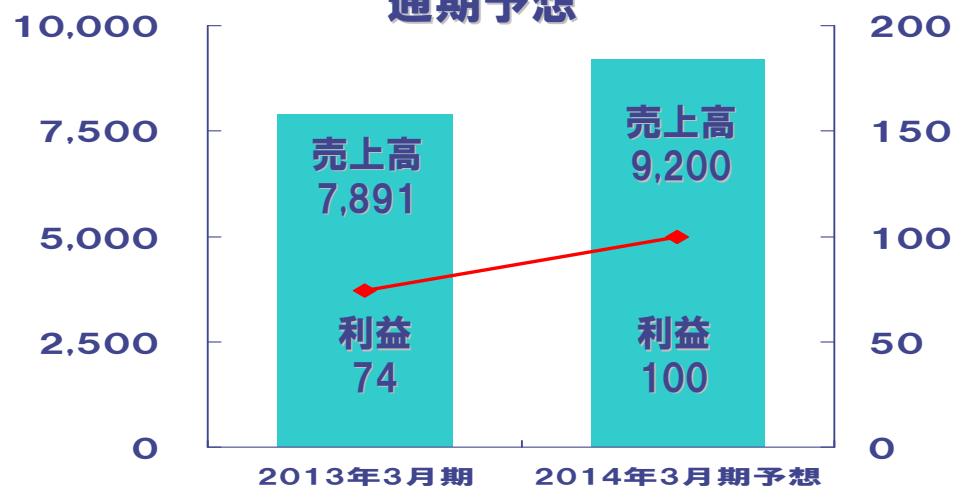
単位：百万円



3,668百万円増収 46百万円増益
前期比169.7%増

生産・技術部門の統合により生産効率化を推進した。
一方、個人消費の回復が遅れる中、市場競争の激化。加えて原材料高騰を製品価格へ転嫁できず、収益面では振るわず。

通期予想



1,309百万円増収 26百万円増益
前期比16.6%増 前期比35.1%増

生産効率化による経費削減を継続。営業部門改革による効果や、価格改定により収益アップを期待。

今後の事業戦略



Dimensional Change

次元を変えた取り組みを行う

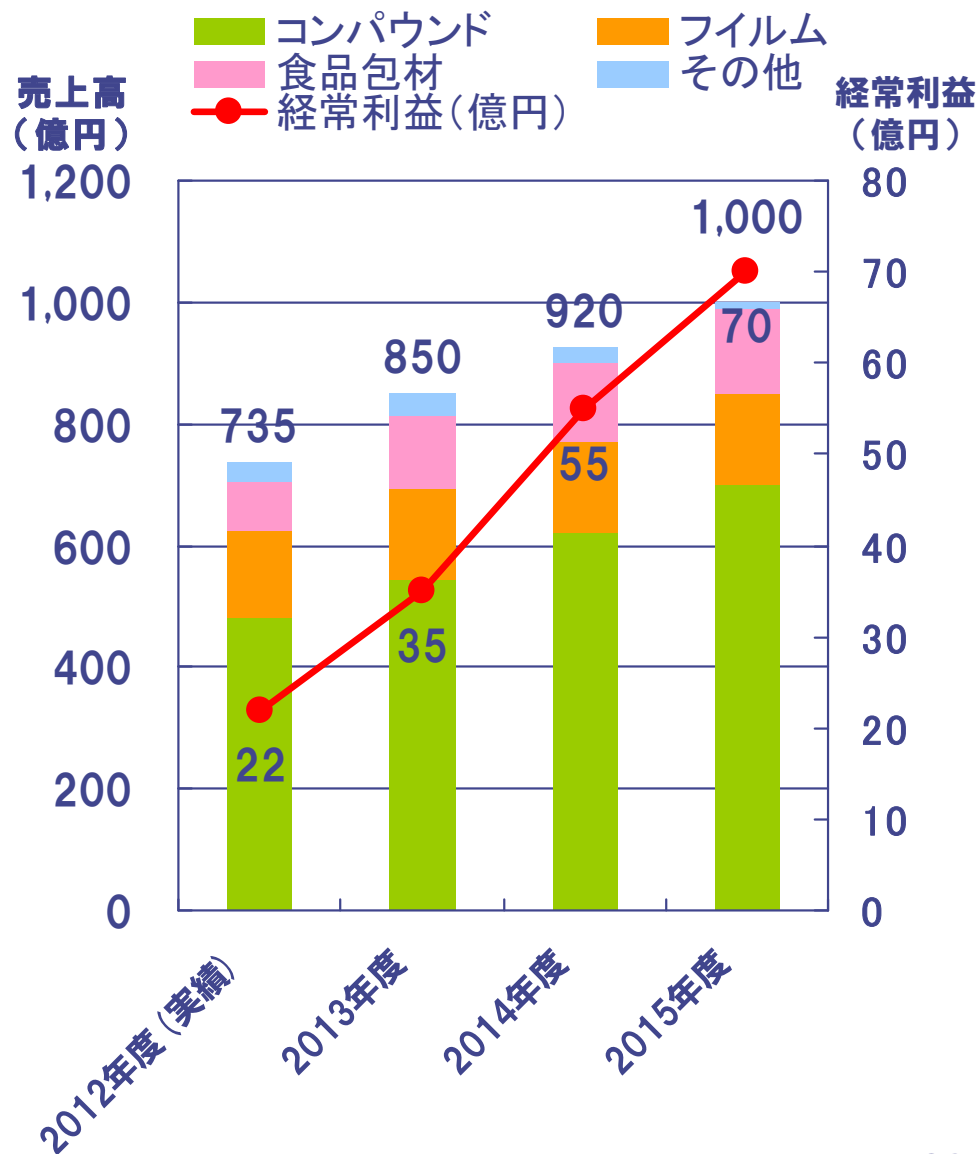
グローバル、更なるスピードアップ

強み	
技術	樹脂の配合・加工に関する高い技術力と対応力
製造	世界同一品質によるグローバル供給力
事業	特定分野で業界トップの事業が多数 M&Aなどによる事業拡大
人材	多能工化が徐々に浸透 真面目で、真摯

主要課題

- ① コンパウンド事業の更なるグローバル展開
- ② フィルム事業の抜本的な立て直し
- ③ ソリューション事業の事業化実現
- ④ 最適な営業推進体制の構築
- ⑤ 徹底した人材育成

(連結ベース)	2015年度 (最終年度)
売上高	1,000億円
営業利益	70億円
経常利益	70億円
当期純利益	40億円



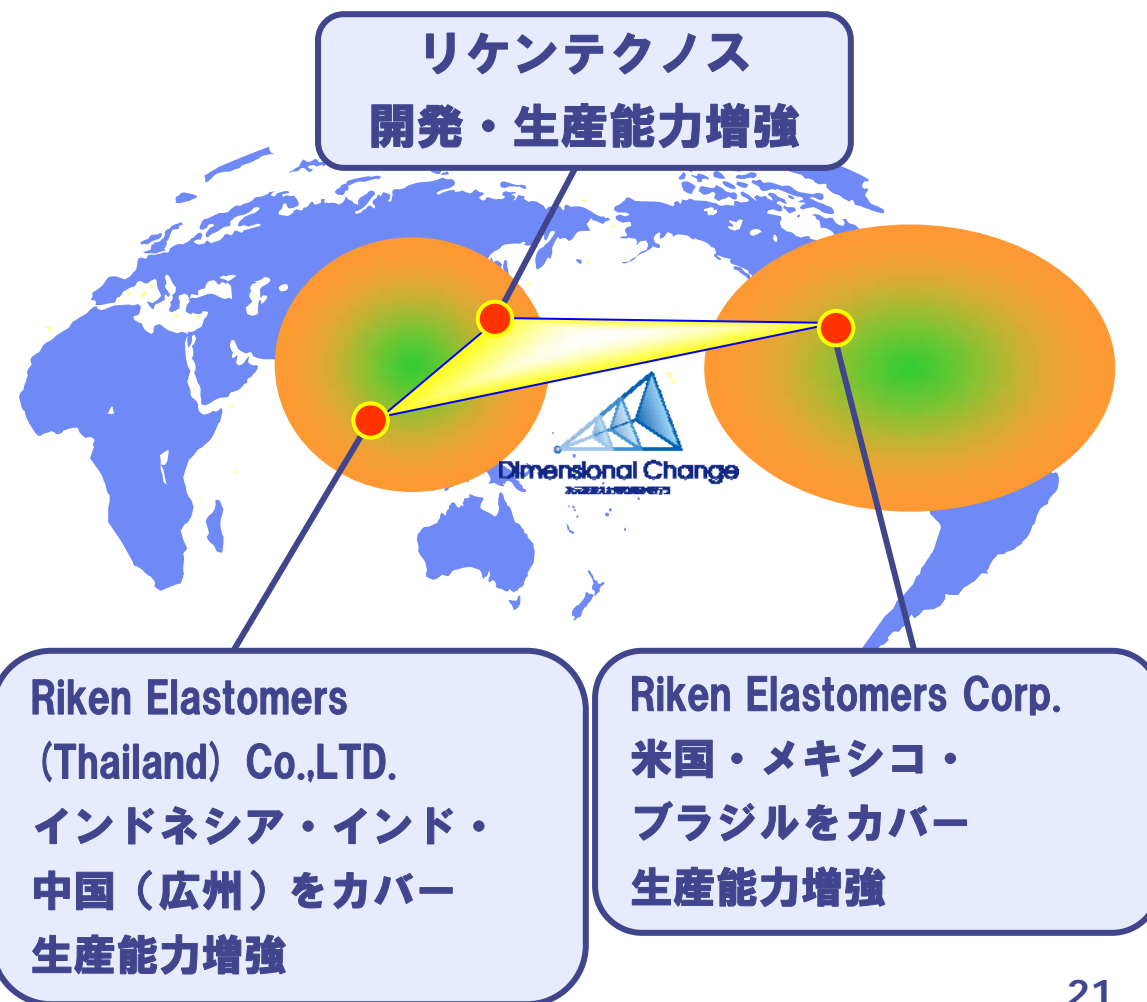
市場動向データ

地域戦略(エラストマー)

▼世界自動車生産台数
(万台/Y)



2015年までに800万台増加



ユーザー戦略

日系中心から、非日系ユーザーへの拡販

製品戦略

- ゴム代替となるエラストマー拡販
- 窓周り（グラスランチャンネル）、ドア防音材（シール部品）、エンジンルーム内部品（耐熱・耐油の要性能）
- 軽量化対応ワイヤーハーネス拡販
- 高意匠/高感触フィルムの採用拡大
- 内装/外装向け加飾用途への展開

人とくるまのテクノロジー展
2013出展



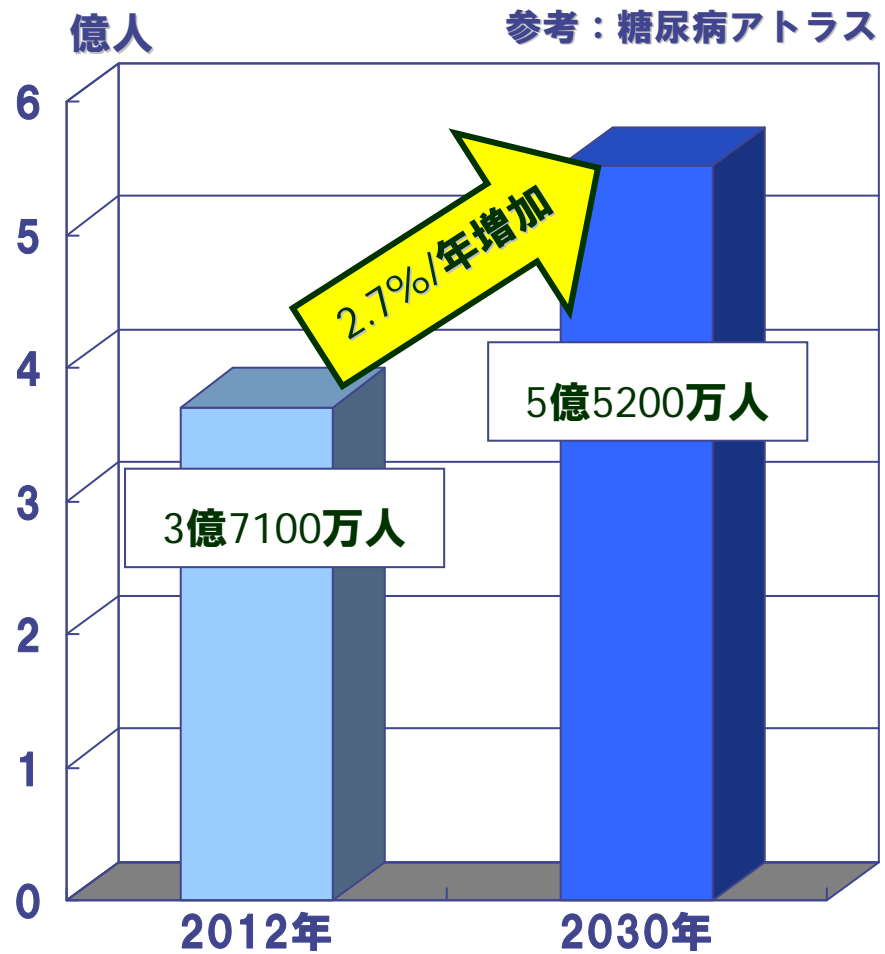
高意匠フィルム、機能性に富むゴム代替材を中心に提案し、昨年比145%の来場者

市場動向データ

▼世界の医療機器市場規模



▼世界の糖尿病患者数 (=透析回路増加)



市場変化・戦略

糖尿病患者増加

途上国の保険制度充実

先進国の長寿命化

日系医療機器メーカーのアジア進出



ディスポーザブル医療用具市場 ⇒ 5.0%/年成長




PT. RIKEN INDONESIAにて医療用ライン稼動開始
用途別グレードの拡充・拡販

市場予測

2013

2014

2015




<p>自動車 ↑</p> <p>世界の生産台数 年率 5.0%アップ</p> 	<p>世界的に販売台数の増加 エコカー、自動運転機能など</p>	<p>中南米市場開拓 アジア市場での更なる拡販（タイ、インドネシア、中国、インドなど） 新規アイテムの開発（各種シール材の開発、グラスランチャネルなど） 非日系自動車メーカー（ローカルユーザー）への拡販 自動車ワイヤーハーネス市場の海外の伸びに対応 自動車電装用途へエンブラで参入及び海外生産開始</p>
<p>医療 ↑</p> <p>ディスポーザル医療用具需要増、年率 5.0%アップ</p> 	<p>糖尿病患者増加、途上国の保険制度充実 先進国の長寿命化など 需要増</p>	<p>インドネシアで医療用工場稼動>>>アジア市場での拡販 新規顧客獲得、既存顧客商権拡大 新素材での製品開発 新規海外販売拠点検討</p>
<p>建材 ↓</p> <p>住宅着工・住設建材全体市場、共に 年率2-3%ダウン</p> 	<p>消費税前の駆け込み需要の影響で落込み 長期では復興支援、オリンピック需要見込</p>	<p>消費税増税前の駆け込み需要、住宅内外装建材の取込み 復興需要、介護福祉案件の取込み、住宅内外装建材の拡大 フィルムの海外生産拠点検討 末端顧客との取り組み強化（既存ビジネスモデル見直し） 機能性新規品・環境対応品の拡販・横展開 ヨーロッパ周辺新興国への拡販</p>

市場予測

2013

2014

2015

<p>電材 ↑</p> <p>国内年率0.9%アップ</p> 	<p>新興国を中心にインフラ用需要拡大 国内では復興支援、東京五輪の需要見込</p>	<p>アジア市場、日系特殊電線市場、ローカルユーザーへの拡販 汎用PVC電線市場の拡販</p> <p>再生可能エネルギー市場 ソーラーケーブルの拡販</p> <p>電線地中化市場取り込み 洋上風力発電用電線市場参入</p>
<p>電子材料 ↑</p> <p>ハードコートフィルム 年率10%アップ</p> 	<p>ディスプレイの多様化による需要増</p>	<p>タッチパネル用機能コート上市・拡販</p> <p>ガラス代替用上市・拡販</p>
<p>食品包材 →</p> 	<p>国内では人口減で需要減 →競争激化 →販路の集約 東南アジアでは市場拡大</p>	<p>統合シナジーの発揮</p> <p>①販売 新分野市場の開拓（介護・ホテル・食品加工・東南アジア） 塩ビ回帰の流れをしっかりと掴む（大手量販店・自動包装機）</p> <p>②競争力強化 国内3工場の生産最適化→コストダウン 中国工場の生産性向上</p>

2013

2014

2015

グローバル営業体制の強化

タイ リケンエラストマーズタイランド稼動

インドネシア 医療用塩ビコンパウンド工場稼動

インドネシア 一般塩ビコンパウンド増設ライン稼動

米国 リケンエラストマーズ 増設ライン稼動

**海外
売上高比率
50%以上が目標**

フィルム海外生産 検討継続

新規生産拠点の検討・未開拓地域の市場調査

全域

アジア

自動車
電線
情報電子
医療

北米

自動車
建材

欧州

建材

その他

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経理部 前田